

平成 27 年度

越前市当初予算編成方針

平成 26 年 10 月

越 前 市

平成 27 年度 越前市当初予算編成方針

1 本市の財政状況と今後の見通し

(1) 経済動向と国の予算の動向

国内の景気は、国において日本経済の再生に向けた取組みを進めている中、雇用・所得環境の改善が続いており、海外景気の下振れリスクはあるものの、緩やかに回復していくことが期待される状況にある。しかし国の財政状況は、一般会計の税収が4年連続の増加となったものの、依然として歳入に占める公債費の割合は高く、長期債務残高はGDPの2倍以上に膨れ上がり、極めて厳しい状況にある。

国においては、人口減少対策と地方活性化を進める「地方創生」に向け、省庁を横断した総合的な施策を推進する「まち・ひと・しごと創生本部」が9月に発足し、東京への人口一極集中傾向に歯止めをかけ、少子化と人口減少を克服するとしている。

平成27年度の予算編成に向けては、昨年8月に閣議了解された「中期財政計画」に沿って、民需主導の経済成長と財政健全化目標の双方の達成を目指し、メリハリのついた予算とするため、「平成27年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針」が閣議了解されたところである。

(2) 本市の財政状況

本市の財政は、歳出では、退職手当や扶助費などの義務的経費が増加しており、平成24年度から始まった団塊の世代の大量退職(H24～H29約180人、年平均30人)に伴う多額の退職手当の支出が見込まれるが、職員数の削減による人件費の削減や経常的経費の抑制に努めている。また、後年度に交付税措置される合併特例債、臨時財政対策債、緊急防災・減災事業債の発行により市債残高は増加しているが、これらを除く市債残高は確実に減少しているところである。(図表1)

歳入では、自主財源の柱である市税収入は、平成21年度と比較すると僅かに増加しているものの(図表2)、人口減少などにより市税収入の大幅な増加は見込めない状況である。

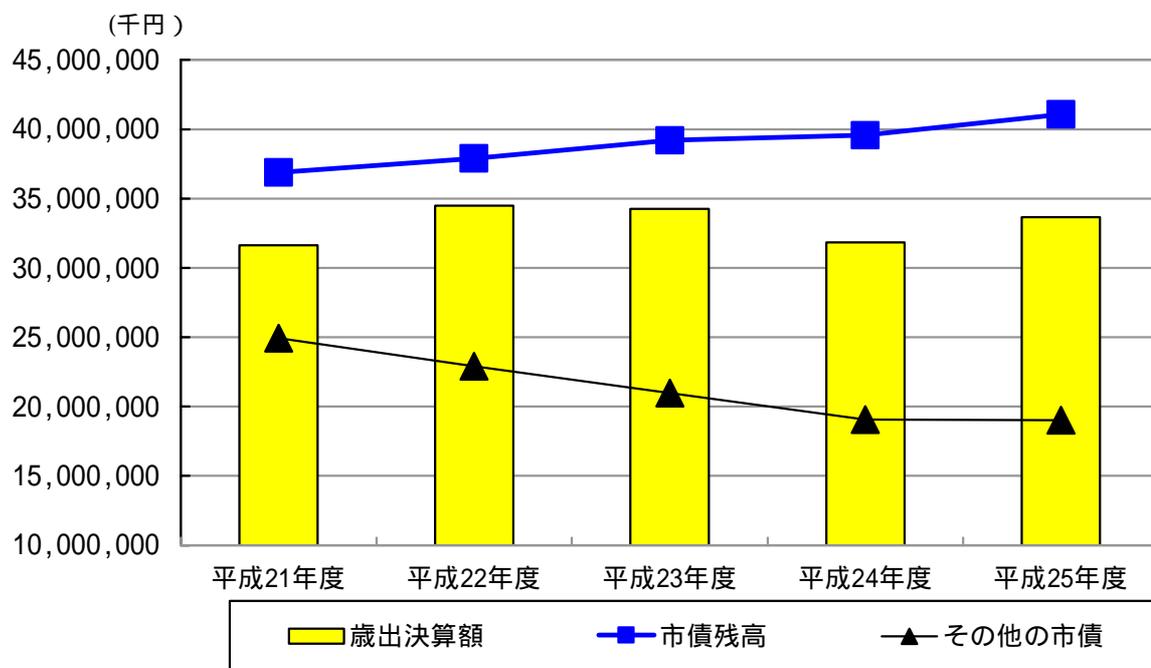
また、今後予定されている新庁舎の建設や武生中央公園の再整備、北陸新幹線南越駅(仮称)の周辺整備、公共施設等の老朽化に伴う整備などの財政負担が予想されるが、昨年9月末には将来の負担となり得る市土地開発公社を解散するなど財政健全化に努めているところである。

したがって、本市においては、市総合計画に基づき事業の着実な進捗を図るために、行財政構造改革のさらなる推進に努めつつ、以下の方針に従い、平成27年度当初予算の編成に当たるものとする。

図表1 歳出決算額、地方債残高及び経常収支比率[普通会計ベース]

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
歳出決算額	31,613,288	34,490,599	34,256,809	31,854,109	33,668,265
うち義務的経費	13,248,212	14,525,819	14,978,931	14,979,562	14,624,174
義務的経費割合	42.0%	42.1%	43.7%	47.0%	43.4%
うち人件費	5,155,106	5,324,162	5,503,056	5,256,942	4,862,546
うち扶助費	4,401,972	5,588,785	5,838,517	5,880,246	5,912,953
うち公債費	3,727,134	3,612,872	3,637,358	3,842,374	3,848,675
市債残高	36,885,735	37,892,629	39,190,442	39,567,356	41,077,008
うち合併特例債	3,954,629	5,270,752	7,124,175	8,035,287	8,111,879
うち臨財債	8,000,352	9,720,111	11,095,307	12,253,685	13,566,270
うち緊急防災・ 減災事業債	0	0	0	216,500	389,100
うち上記を除く その他の市債	24,930,754	22,901,766	20,970,960	19,061,884	19,009,759
経常収支比率	90.0%	86.7%	84.7%	87.7%	89.2%



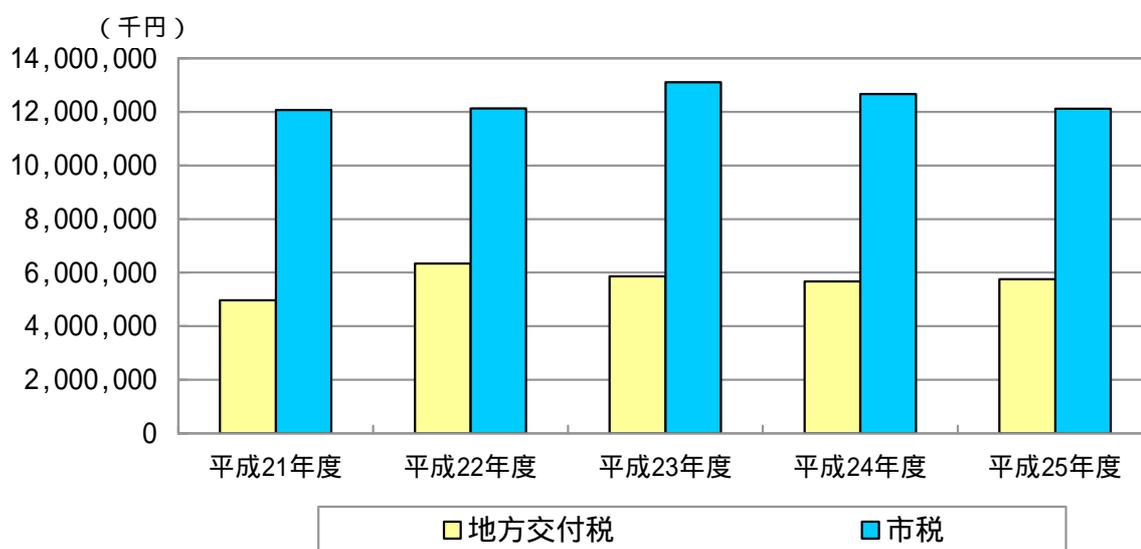
その他の市債：合併特例債、臨財債、緊急防災・減災事業債を除く市債

図表2 地方交付税及び市税額

(単位：千円)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
市 税	12,076,268	12,133,324	13,112,712	12,664,144	12,121,669
同上比較	100.0	100.5	108.6	104.9	100.4
地方交付税	4,971,833	6,337,720	5,864,234	5,674,860	5,753,913
同上比較	100.0	127.5	117.9	114.1	115.7

同上比較欄は、平成 21 年度の数値を 100 として各年度を比較している。



2 予算編成の基本方針

(1) 越前市総合計画の実現

編成に当たっては、市総合計画に掲げる「元気な自立都市 越前」の実現に向け、「自立」と「協働」を基本理念に、「定住化の促進」を重点目標に掲げ、元気な産業づくり、元気な人づくり、快適で住みよいまちづくり、安全で安心なまちづくり、市民が主役のまちづくりの5つの柱を推進するものとし、平成26年度に改定した基本計画に基づき、長期的視点に立った「人づくり、ものづくり、まちづくり」に取り組み、市民の安全・安心の確保と福祉の向上を目指すものとする。

(2) 通年型予算の編成

1年間の必要経費を確実に見込んだ通年型予算を編成する。したがって、補正予算は、年度途中の制度変更に伴うものや災害復旧など緊急を要するものに限定する。

併せて、国の当初予算編成等にかかる情報収集に努め、市の事業の見直しや予算への影響を十分考慮し、当初予算への反映に努める。

(3) 重点施策への取組み強化

市総合計画の重点目標に掲げた「定住化の促進」の実現を図るため、本年、国が推進する「まち・ひと・しごと創生」に関する施策に基づき、「越前市人口問題・定住化促進対策会議」を9月に設置し、取組みを進めているところである。

平成27年度は、上記を踏まえ、次の施策への取組みを重点項目として強化し、市長マニフェストの実現を図るものとする。

重点施策の実現に資すると認められる新規事業の要求については、精査の上、重点的に予算を配分する。

重点項目

人口問題・定住化対策の推進

住環境の整備促進、I・J・Uターンの推進等

次世代を育む施策の推進

夢ある子ども育成事業、次世代育成支援の推進等

経済・雇用対策の推進

地域特性を生かした経済・雇用対策の推進等

環境や文化と調和した産業の育成

工芸の里構想の推進、コウノトリが舞う里づくりの推進等

まちづくり基盤整備の推進

新庁舎の建設、武生中央公園の再整備、北陸新幹線「南越駅」(仮称)の周辺整備、中心市街地の活性化等

地域防災力の充実強化

地域防災、治水対策、学校施設耐震化の推進等

(4) 各種計画等の推進

工芸の里構想や子ども・子育て支援事業計画をはじめ、平成26年度に策定する計画など、各種計画の目標実現に向けた施策を着実に推進するものとする。

(5) 行財政構造改革の推進

市税収入の見通しが非常に厳しい中、財政基盤を強化し、持続可能な財政構造を構築するため、市行財政構造改革プログラム 実行計画を着

実に推進するものとする。

また、平成26年度の事務事業評価の2次評価により、事業の方向性や次年度予算への方向性が決定されたものについては、その内容を予算要求に反映するものとする。

なお、南越消防組合及び南越清掃組合においても、市と同様に十分な見直しを図り、行財政構造改革の推進を図るものとする。

(6) 事務事業の積極的な見直し

市総合計画実践プログラムとの整合を図りつつ、事務事業評価を予算に反映させ、予算の重点的、効率的な配分を念頭に、自主財源の確保や歳出のムダの排除等により、将来の財政負担の抑制を図るものとする。

(7) 情勢変化への柔軟な対応

国・県の対応や経済の動向等により、大きく情勢が変化した場合には、予算編成過程において、調整のうえ柔軟に対処するものとする。

予算編成事務の詳細については、別途通知する「予算要求要領」によること。